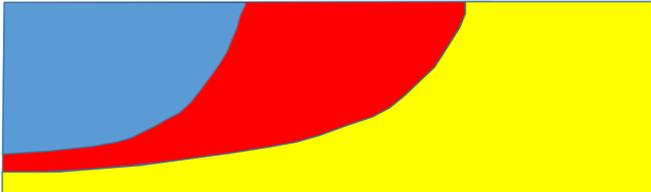


## 第2期掛川市教育振興基本計画(案)に関するパブリックコメント

1 実施期間 平成30年12月28日(金)～平成31年1月28日(月)

2 意見数(意見提出者数) 31件(12人)

3 意見の内訳

No.	ページ	項目	意見	市の考え
1	14	子どもの貧困の広がり	就学援助希望の家庭が増加していますが、希望が通らない家庭も多いです。保護者の生活の安定が学校生活での安定につながると考えます。貧困対策計画の充実を望みます。	御意見として伺います。
2	15	教職員の多忙化	教職員の働き方改革が問題になっていますが、なかなか根本的な解決は難しいと感じています。教員の意識改革も必要ですが、市や教育委員会の行事、会合もスリム化していくことを望みます。	教職員の多忙化解消につながるよう善処してまいります。御意見として伺います。
3	15	学校規模の適正化	報道等にもあるように、掛川市でも避けて通れない問題だと思えます。保護者や地域の方の気持ちを汲みながら、子どもたちにとってより良い方向性を打ち出していきたいと思えます。	未来の子どもたちにとって豊かな教育環境となるよう進めていきます。
4	16・38	確かな学力の育成	学校図書館の持つ役割には、①教育課程の展開に寄与すること、②児童生徒の健全な教養の育成の2面があることは今更申し上げるまでもないことですが、この基本計画では①の面についての言及が全くありません。P16やP38の「確かな学力」の項で、新学習指導要領の「主体的で対話的な深い学び」を引用して、そのためには、学校図書館の利活用の推進や整備の充実が必要なことを是非入れてほしい。激変する社会に対応できるよう「新しい学力観」が打ち出され、図書標準の設定・司書教諭の必置・学校司書の法制化・学校図書館整備計画・指導要領の改訂等条件整備が進められてきているのに、このままでは、従来から指摘されている「学校図書館」は狭義の読書指導の場のみになってしまいます。	これまで確かな学力の育成の面において、学校図書館の機能を生かした授業づくり等に取り組んでまいりました。今後は、これまでの取組を基盤にして、さらなる学力の育成につながるよう努めてまいります。P16の1(1)とP39の(3)アに「学校図書館の利活用」を加筆しました。「主体的・対話的で深い学び」については、P39のアに記載済みです。
5	20	基本目標	「凜から未来の創造へ」とても良いと思えます。これからの社会を豊かにしていくには新しいアイデアを生み出す力が必要です。「豊かな未来を創造する」という言葉が、それをはっきりと表してくれていると思えました。	自己と社会の豊かな未来を創造する人づくりにつながる施策を推進してまいります。
6	20	基本目標	新しい基本目標が示されました。今、豊かな未来を「創造」できるかどうか私たちに課せられています。未来を生きる子どもたちのために掛川の教育がどうあるべきかを市民総ぐるみで考えていくことを大事にしていることが伝わってきます。市民一人一人がそれぞれの立場でできることを考えていきたいと思えます。	掛川市の教育を市民総ぐるみで考えていくことを大切にしながら、施策を推進してまいります。
7	23	施策の体系	「市民総ぐるみの教育」の下にある乳幼児教育、学校教育、社会教育は、割合が増えていくような図になると良いのではないのでしょうか。 	P23のイメージ図を御意見のように修正しました。
8	23	市民総ぐるみの教育	今回、「市民総ぐるみの教育」が1分野として取り上げられたことを学校関係者として、有り難く感じました。これまで「中学校区学園化構想」推進の結果として、地域住民の学校ボランティアの活動も、成果をあげてきています。今後、様々な分野での協力を進めて、より学校教育が充実することを望みます。	第2期教育振興基本計画においても「市民総ぐるみの教育」を推進してまいります。
9	28	市民総ぐるみの教育	掛川市ならではの「3つの宝」を大切にしたいです。特に「中学校区学園化構想」の推進に力を入れていきたいです。そのために、本文にもあるように「子ども育成支援協議会」とより良い関係を図っていきたくて考えています。1つ心配していることは、地域コーディネーターを引き継ぐ人とその育成です。現在の地域コーディネーターはボランティアで子どものために、学校のためにと活動してくださっていることも多いです。引き継いでくださる地域コーディネーターの発掘と育成をどのように進めていくかの具体策を盛り込んでほしいと思えます。生涯学習協働推進課との連携も考えられると思えます。	地域コーディネーターの育成は、地区との連携が重要であり、P29イ「中学校区学園化構想の推進」に加筆いたしました。

No.	ページ	項目	意見	市の考え
10	28	評価指標	今回項目ごと、「評価指標」を設定したことで、めざすところが、明確でわかりやすくなったと思います。また、達成したかどうかの評価も、はっきりすることが期待できると思いました。	評価指標を生かしながら教育施策の推進を図ってまいります。
11	28～	評価指標	次の2つの目標値が実態に即しているかどうか疑問に感じました。 ①2-3 園で実施している子育て事業により…安心して子育て… 90% ニーズが多様化している中、A評価90%が現実的な数字なのか疑問に思います。安心して子育てできるかどうかは園での支援事業だけで判断できるのものではない、と考えますが。 ②3-4 地域防災訓練への参加率 …90% 土日の過ごし方が多様化し、防災意識とは別の理由で参加義務を課することが厳しくなっている、という地域の方の声も聞きます。地域の実情に応じた防災意識の高まる指標や指標値を考えたいです。 例) 当日参加できない場合は防災家族会議をする等何らかの形で防災について考える機会とする。	①実現可能性を考慮し、80%に変更しました。 ②児童生徒が、地域での防災意識を高める手段として評価指標を90%に設定したいと考えます。
12	38	確かな学力の育成	変化の激しい社会の中で、希望を持ってたくましく生きていくことのできる力を身に付けることは、大切だと思います。学校と地域・社会が互いに手を取り合って子どもたちを育成していこうとする意識を持つことも大切だと思います。また、小学校外国語活動支援員の派遣の充実をさらに進めていく必要を感じます。	地域でもグローバルにも活躍できるひとを育てていくための御意見として伺います。
13	38	確かな学力の育成	現状と課題について全く正しい認識であると思います。しかし、学校について考えると、やるが多すぎて何を最優先に進めるかという点が問題になります。児童保護者との信頼関係を深めていくことがすべての基盤です。学校生活のゆとりが必要です。	御意見として伺います。
14	39	小中一貫教育	これまで取り組んできた中学校区学園化構想による保幼小中の連携は、子どもの教育にとって有効なものであったと思います。その成果を生かしながら小中一貫教育を進めていけたら良いと思います。指定学園の研究の成果を学びたいと考えています。	中学校区学園化の成果を生かし、全市的に小中一貫教育を推進することを努めてまいります。
15	39	情報教育の推進	タブレットやPCを活用して、様々な情報収集を簡単にできる反面、感性豊かな子どもたちが、安心して賢く使用できるような教育をお願いします。また、タブレットやPC等の情報機器は、使い方が様々なため、将来、子どもたちが興味を持ち、創造的な使い方ができる様に指導をお願いします。	これからの情報化社会の中で、ツールとして使用する情報機器の活用力を身に付けることとともに、それらを活用して様々な場面において新たな価値を見出していける力も養っていくことができるよう努めてまいります。
16	39	情報教育の推進	計画にあるように、学校教育において、ICTを効果的に活用する能力を向上させることは、これからますます重要になってきます。今後も、ICT機器など、ハード面での充実を積極的に進めていただきたいです。	授業等で活用できるICT機器を充実していただけるよう努めてまいります。
17	39	情報教育の推進	本市は、掛川市教育情報化推進基本計画を平成27年度から平成31年度で策定しています。ICT機器整備は、大きな予算が動くため、豊かな未来を創造する力を育てるために必要なICT環境を整える大胆な推進（整備）計画を立て、何を整備するのか明確にしておかなければならないと思います。現計画のことに触れ、次年度以降に現計画を見直していく方向性を示したらどうでしょうか。	P39のウに「掛川市教育情報化推進基本計画」を加筆しました。また、P47のアにも再掲しました。
18	39	情報教育の推進	無線LAN等の通信環境が整わない中での推進は、無理があると思います。ハード面の整備を強く望みます。また、情報教育を推進できる教員も不足しています。教員への研修の充実を望みます。	掛川市教育センターの教職員研修における情報教育研修の充実を図って参ります。また、授業等で活用できるICT機器を充実していただけるよう努めてまいります。
19	40	外国語教育の充実	日本語でのコミュニケーション力を大切にして、外国語の教育をお願いしたいです。	御指摘のとおり、思考言語である日本語の力を高めつつ、これからの時代に必要なコミュニケーション力を、外国語でも養ってまいります。

No.	ページ	項目	意見	市の考え
20	40	特別支援教育の充実	特別支援教育は、早期対応が重要だと考えます。一層の幼稚園・保育所・認定こども園との連携を進めることができる体制づくりを希望します。	個別の支援計画の改定に伴い、園児の支援情報が小学校へ確実に引き継がれる体制の充実を図っています。また、園においても乳幼児未来学会の発達支援研究部において充実した研修を行っています。園と小中学校と合同で特別支援コーディネーター研修会を開催し、情報を共有するなど、園・学校が連携を図る体制の強化に努めてまいります。
21	40	外国人児童生徒への指導の充実	外国人労働者に対する規制が緩和されたことにより、外国人児童生徒の増加が予想されます。市内で拠点校を設け外国人児童生徒への専門的な指導を行う方法も検討していったらよいと考えます。	外国人児童生徒への指導の充実を図ることができるよう検討してまいります。
22	42	健康教育と体力・たくましさの育成	市が行うアレルギー研修会だけでなく、病院での感染症対策などの研修もあり、大変良い機会をいただきました。今後も児童生徒の健康の保持増進に努めるために、このような機会をいただけたらと思います。	今後も有意義な研修会となるよう努めてまいります。御意見として伺います。
23	42	健康教育と体力・たくましさの育成	学校保健委員会の開催促進のため、講師の連絡・派遣等をしてくださるところがあるとありがたいです。例えば、思春期講座（助産師）、子ども向けの救急法（消防士）、生活リズム（保健師）など。	講師依頼等につきましては、必要に応じて市教委へ問い合わせいただく中で、対応してまいります。
24	43	防災教育の推進	自分の命を自分で守ることができるよう防災教育の推進は進めていくべきだと思います。地域を巻き込んだ避難訓練や原子力対応の避難訓練も積極的に実施できるとよいと思います。	学校と地域が連携した防災教育の推進は今後益々重要となります。地域の御理解を得ながら進めていけるよう努めてまいります。
25	45	地域とともにある学校づくり	学校では、キャリア教育を意識した取組を計画的に実践して行きたいと思います。キャリアノートの取組についても検討中です。	子どもたちのキャリア発達を育てていけるよう努めてまいります。
26	45	未来へつなぐ学校づくり	教職員の教育力を高めることや学び続ける教職員を目指すことは大賛成です。しかし、事務処理の負担軽減で子どもと向き合う時間の確保は無理です。定数増が無理なら、市独自の支援員の配置をお願いします。	教職員の多忙化解消に向け、掛川市として現在行っている施策の充実が図られるよう努力してまいります。
27	49	食物アレルギー対応の充実	市内で統一されている手引に沿った対応ができるため、大変良いと思います。	御意見として伺います。
28		その他	<p>個別的事項</p> <p>①P11「情報教育」は、広く図書館とAIを結びつけて考え、融合された指導はできないか。</p> <p>②P17(1)で、学校司書の全校配置を、P18(4)で「チームとしての学校」の観点から、学校司書の配置を入れられないか。</p> <p>③P21学校教育で、ここでも「主体的・対話的で深い学び」を使いたい。</p> <p>④P25見出し「対話的」をいれないと新学習指導要領の趣旨が生きない。</p> <p>⑤P39評価指標「学校図書館資料を活用した授業の割合（文科省の学習状況調査項目にある）を入れたい。</p> <p>⑥P39(3)で「学校図書館の活用」の活用を入れたい。</p> <p>⑦P41「学校司書」は派遣ではなく配置ではないか。</p> <p>⑧P42評価指標⑤で指摘した「学校図書館資料活用の授業の割合」を入れてほしい。</p> <p>⑨P46(3)教職員の勤務状態は危機状態のようだ。中教審も対応策を打ち出したが、掛川市ではそれを受け止めてどう対応するのか、方向付けがほしい。磐田市のような市独自で教員の採用ができるよう検討を始めたかどうか。</p>	<p>①情報教育と図書館を連動して教育にあたることはこれまでも取り組んできました。今後も、情報センターとしての図書館の利活用に取り組んでまいります。P39アにそのことを追記しました。なお、AIと融合することに関しては、今後の情報機器の発展に伴い、研究していく必要があると考えています。</p> <p>②P47の主要事業に学校司書の配置の拡充を再掲しました。</p> <p>④学校教育の目標として位置付けており、「自ら考え判断し」や「心豊かにたくましく」の部分に、対話をとおした学びの意味を含めています。また、P39アに「対話的」を記載してあります。</p> <p>⑤一つ一つの個別の取り組みを指標とするのではなく、本来的な教育の成果を表す評価指標が適当と考えます。</p> <p>⑥P39の主要事業に加筆しました。</p> <p>⑦「配置」に修正しました。</p> <p>⑧豊かな感性の評価指標には、同じ図書館利用の指標として、「児童生徒一人あたりの学校図書館年間平均貸出冊数」とし、読書量の充実を図ることを指標とする方が適当と考えます。</p>

No.	ページ	項目	意見	市の考え
		その他	<p>⑩P62(3)に「調べ学習コンクール」は生涯学習宣言都市にふさわしい事業だ。さらに充実させるよう項目に入れてほしい。</p> <p>⑪P65(3)「静岡新聞データベース・日経テレコムなどの活用法の講習」を入れてほしい。</p> <p>⑫P67学校評価指標に⑤で指摘した「学校図書館資料活用の授業」を入れてほしい。</p>	<p>⑩「調べ学習コンクール」の他にも多様な事業がある中、個別に主要事業として記載することは難しいと考えました。</p> <p>⑪P65の主要事業に「データベース等の情報サービスの充実と活用」を追加しました。</p> <p>⑫豊かな感性の評価指標には、同じ図書館利用の指標として、「児童生徒一人あたりの学校図書館年間平均貸出冊数」とし、読書量の充実を図ることを指標とする方が適切と考えます。</p>
29		自由意見	<p>これまでの掛川市の教育実践や現在の課題から、今後の方向性を的確に見出し、提案している素晴らしい計画だと感じました。掛川市の学校教育、掛川市の子どもたちの未来がとても楽しみです。</p>	<p>掛川市の子どもたちが豊かな未来を創造できるよう施策を推進してまいります。</p>
30		自由意見	<p>学校のトイレの老朽化に伴う臭いの問題や洋式化への取組について、学校の裁量で行えるものと考えている傾向が強く感じます。エアコンの設置が決まって、大変ありがたいですが、次はトイレの問題に焦点が移っていくものと思われます。個々の学校の問題ではないので、市としての方針を出していただくことを希望します。</p>	<p>学校の適正規模・適正配置や長寿命化計画の策定に関連して、御指摘の内容も検討してまいります。</p>
31		自由意見	<p>様々な事業を掛川市として策定していただきありがとうございます。教職員の人材不足の中でも、国や保護者からの要求事項が多いものと察します。そのような中でも、市民にアピールして事業活動を理解してもらえるように、活動されていることを初めて知りました。掛川市としての飛躍を期待しています。</p>	<p>御意見として伺います。</p>